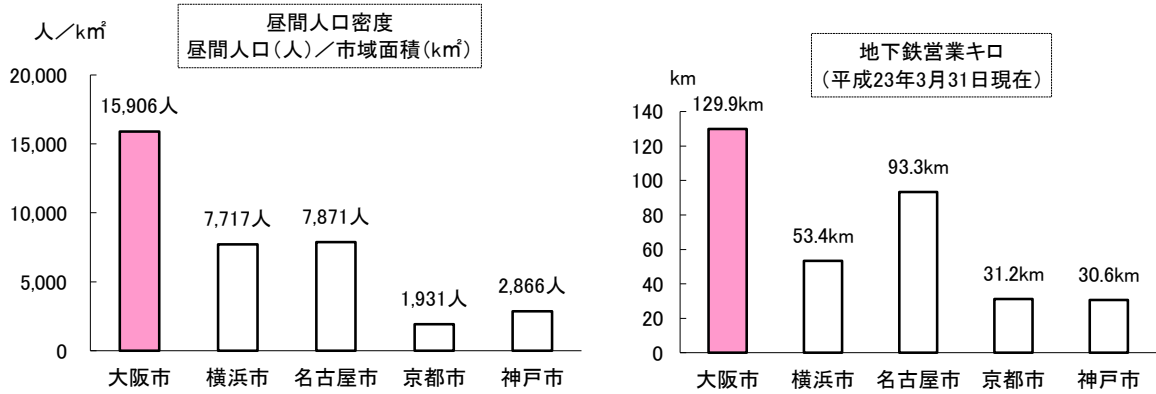
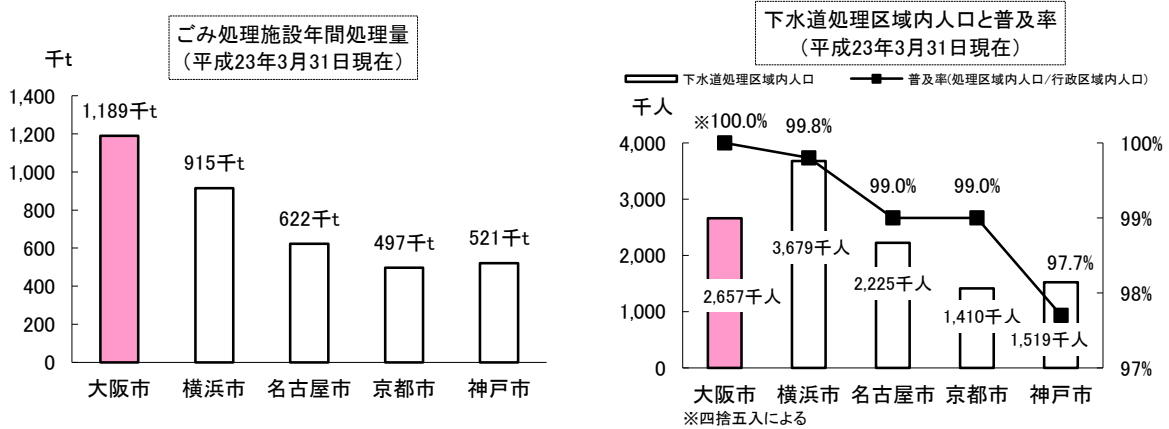


④ 昼間流入人口に対応するための都市施設

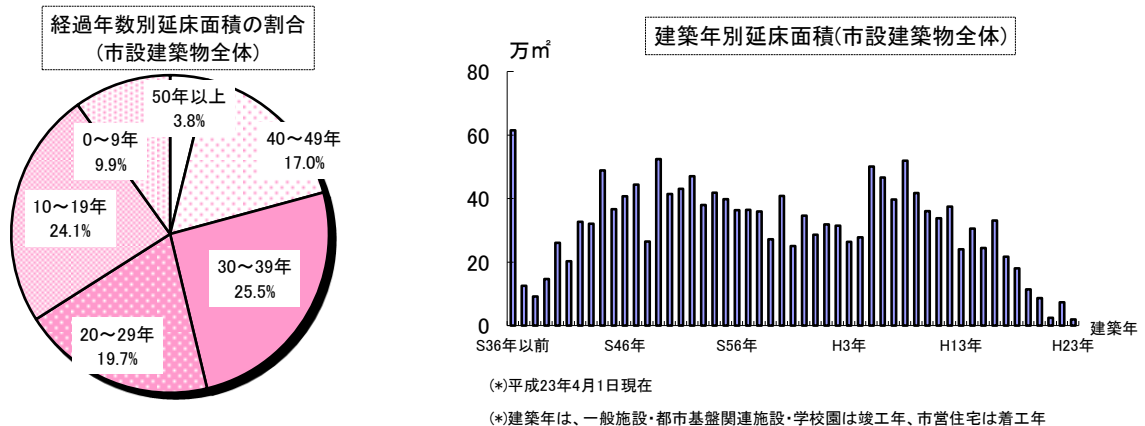
▶ 大阪市では、高密度の人口集中や膨大な昼間流入人口、経済活動の集積などに対処するため、早くから地下鉄や下水道などの都市基盤と生活環境の整備を進めてきました。



資料: 平成22年国勢調査



▶ 早くから都市施設の整備を進めてきた結果、こうした諸施設が順次更新時期を迎えつつあります。

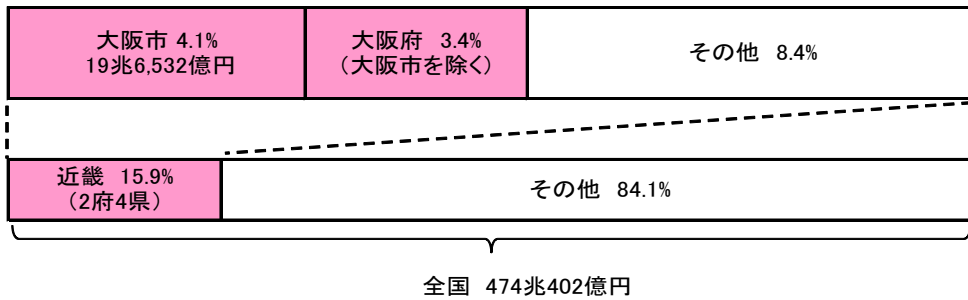


⑤大阪経済の現況

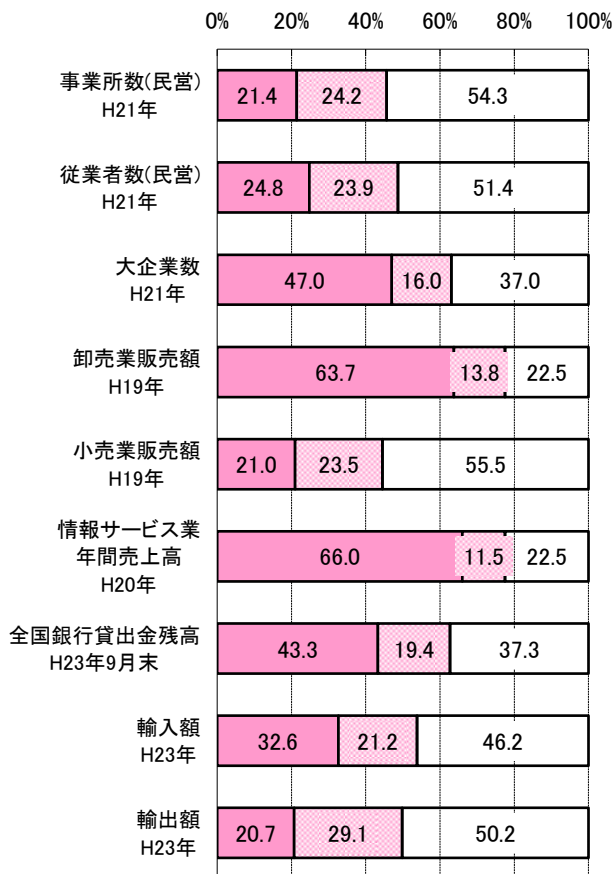
- ▶ 大阪都市圏の中核である大阪市の市内総生産(名目)は、19兆6,532億円(平成21年度)となっており、国内総生産(474兆402億円*)の約4%を占めています。
- ▶ 国内総生産の約16%に相当する近畿圏(2府4県*)の域内総生産のうち、約1/4を大阪市が占めるなど、大阪市に経済活動が集中していることが分かります。

(*)平成21年(暦年値)(*2)大阪府、兵庫県、京都府、和歌山県、奈良県、滋賀県の6府県

市内総生産(名目)(平成21年度)



経済活動の規模(近畿内シェア)

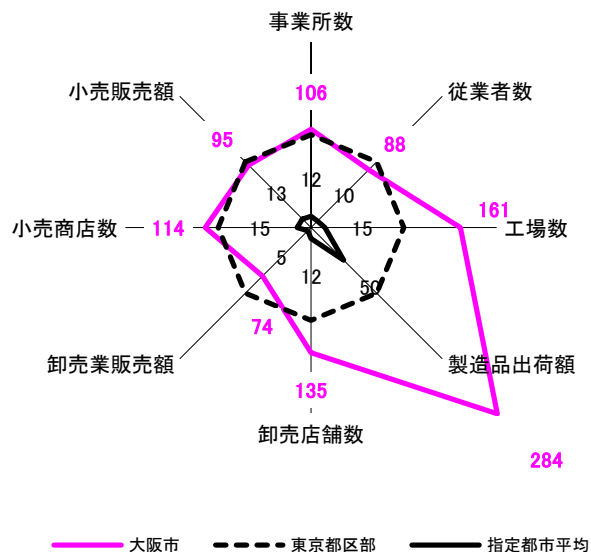


■大阪市 □大阪府(大阪市を除く) ▨その他(大阪府を除く1府4県)

- ▶ 大阪市経済の特徴として、各種産業の集積密度が高いことがあげられます。

- ▶ 主要な産業・経済指標を単位面積当たりで換算した「密度」で比較すると、東京都区部に匹敵しています。

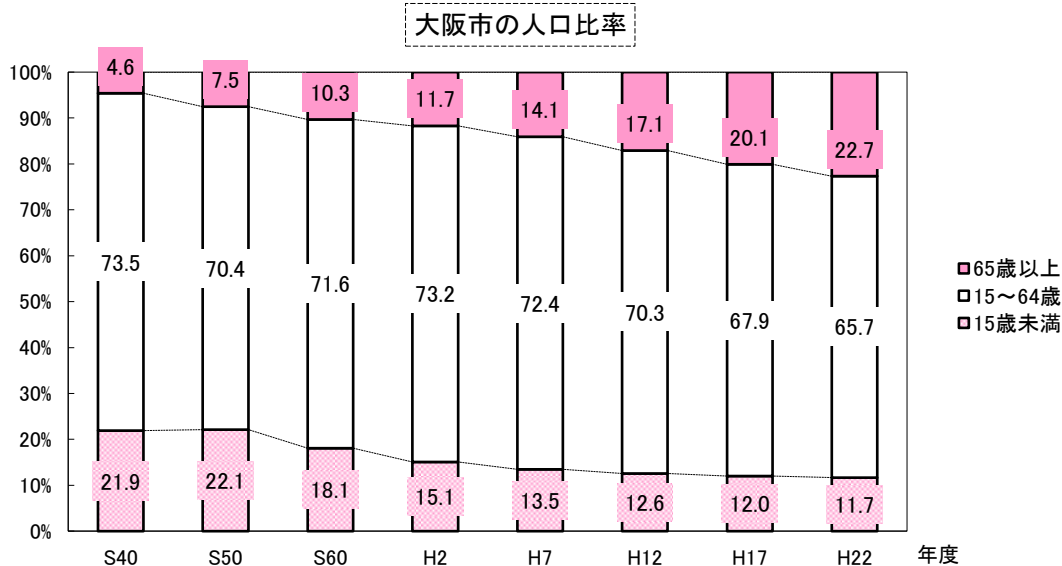
産業活動の密度の比較



資料: 大阪の経済2012年版、大阪税関「貿易統計」

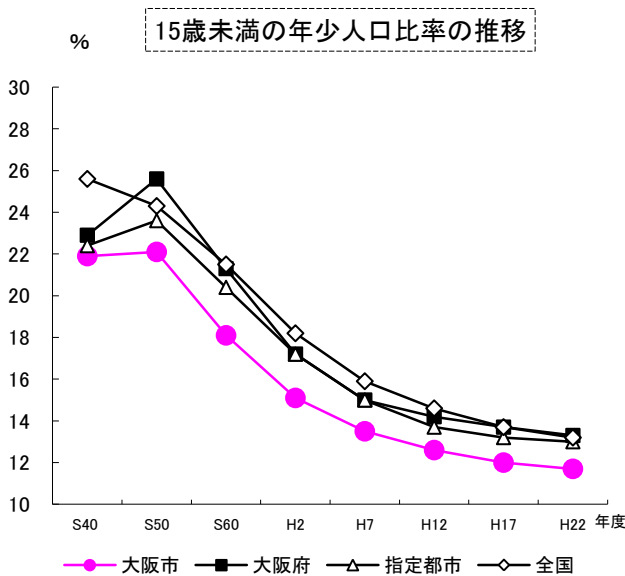
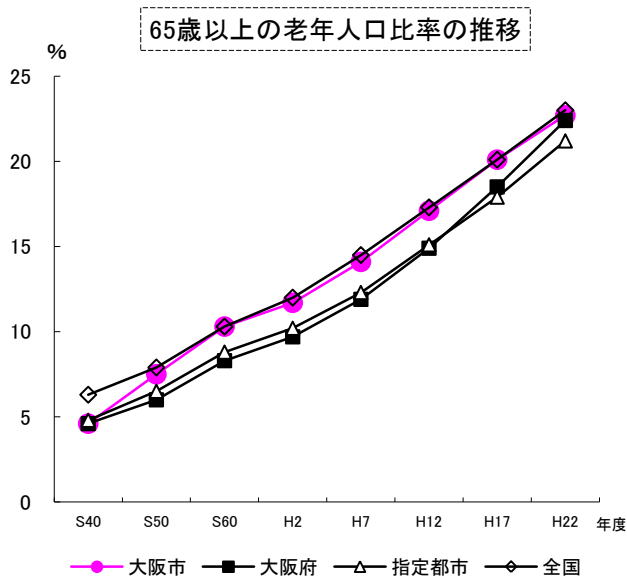
⑥急速に進む少子・高齢社会

➤ 少子・高齢社会が進み、大阪市では、65歳以上の老年人口比率が増加し、2割を超えている一方で、15歳未満の年少人口比率は減少しつつあります。



※表示単位未満を四捨五入して端数調整していないため、合計が100%にならない場合があります。

➤ 大阪市の65歳以上の老年人口比率は、大阪府や指定都市の比率を上回っている一方で、15歳未満の年少人口比率は、下回っている状況です。



65歳以上の老年人口比率の推移 (%)

	S40	S50	S60	H2	H7	H12	H17	H22
大阪市	4.6	7.5	10.3	11.7	14.1	17.1	20.1	22.7
大阪府	4.6	6.0	8.3	9.7	11.9	14.9	18.5	22.4
指定都市	4.8	6.5	8.8	10.2	12.3	15.1	17.9	21.2
全国	6.3	7.9	10.3	12.0	14.5	17.3	20.1	23.0

15歳未満の年少人口比率の推移 (%)

	S40	S50	S60	H2	H7	H12	H17	H22
大阪市	21.9	22.1	18.1	15.1	13.5	12.6	12.0	11.7
大阪府	22.9	25.6	21.3	17.2	15.0	14.2	13.7	13.3
指定都市	22.4	23.6	20.4	17.2	15.0	13.7	13.2	13.0
全国	25.6	24.3	21.5	18.2	15.9	14.6	13.7	13.2

資料: 国勢調査